

基づく教育課程の運営と指導法の改善について、研究発表並びに研究協議を行った。

- イ 教育課程研究会議を開催、「進路指導の充実を図るための教育活動」について研究し、手引書（指導資料第23集）を作成し、配付した。また、教育課程研究会議小委員会「国際理解推進委員会」を開催し、「国際理解教育の進め方」について研究し、手引書（指導資料第24集）を作成し、配付した。
 - ウ 文部省指定研究学校（教育課程、勤労体験学習、生徒指導、進路指導）、県指定研究学校（学習指導、生徒指導、情報処理教育、国際交流）における研究実践の推進を図り、その成果の普及に努めた。
 - エ 県立学校共同訪問により、教育課程の改善および指導法について指導助言を行った。
 - オ 特別活動講習会を開催し、ホームルーム指導のあり方について研究協議を行った。
 - カ 各種研修会、学校訪問等を通して、学習指導に関する下記事項の徹底に努めた。
 - (ア) 教科科目の目標を明確にとらえ、指導内容を重点化して基礎学力の充実を図ること。
 - (イ) 教材の特性に即して指導法に工夫を加えるとともに、学習指導の個別化に努めること。
 - (ウ) 学習効果を高めるための評価の方法について研究し、改善を図ること。
- ② 生徒指導の充実を図る。
- ア 校内における指導体制の確立を期し、各種研修会、学校訪問等の指導を通して、教職員の共通理解を図り同一歩調による生徒指導の充実に努める。
 - イ 生徒指導研究会議を開催し、学校と家庭・地域社会との連携をふまえた心豊かな生徒の育成をめざした生徒指導について研究した。
 - ウ 新入生の保護者を対象に、家庭における指導のためのパンフレット「育てようすこやかに」を配布した。
 - エ 生徒指導推進地域を指定し、中・高及び関係諸団体が一体となって、環境浄化・生徒の健全育成を中心に、地域ぐるみの生徒指導の推進に努めた。
 - オ 生徒指導担当者研修会を開催し、生徒の多様化に即した生徒指導のあり方について研究協議を行った。
 - カ 学校における教育相談体制の確立と教育相談活動の改善充実を図った。
- ③ 進路指導の適正化に努める。
- ア 進路指導主事研修会、進路指導講座等を実施し、下記事項の徹底に努めた。
 - (ア) 低学年からの計画的、組織的な進路指導を通し進路意識の育成に努めること。
 - (イ) ロングホームルームにおける進路指導の充実に努めること。
 - (ウ) 日常の接触や諸調査・諸検査を通して、生徒の能力・適性・進路の希望等を的確に把握すること。
 - (エ) 生徒の自己理解の促進に努めること。
 - (オ) 進路に関する情報や資料の収集に努めるとともに、その効果的な活用を図ること。
 - (カ) 組織的・計画的な進路相談の充実に努めること。

イ 研究学校を指定し、研究実践の推進を図った。

- ④ 産業教育の充実を図る。
 - ア 産業教育の改善・充実、並びに情報処理教育の推進に努めた。
 - (ア) 体験入学の学習内容の質的改善・充実に努めた。
 - (イ) 職業学校・学科の理解を促進するため、紹介用パンフレット「わたくしたちの進路」を作成配布した。
 - (ウ) 情報処理教育の充実のため、教員の研修に努めた。
 - (エ) 産業教育関係機関との連携により、産業教育の振興に努めた。

(4) 教職員の資質の向上と学校管理運営の充実

- ① 現職教育の充実
 - ア 校内における研修体制の充実改善を図った。
 - イ 研究会、講習会等への積極的参加を促進し、指導力の向上を図った。
 - ウ 自己研修の充実により、教職員の能力が効果的に発揮されるように努めた。
- ② 学校管理運営の適正化
 - ア 適正な学校運営の努力目標を定め、その到達度を客観的に評価できるように努めた。
 - イ 管理者が学校管理運営について積極的に指導助言を行うように努めた。
 - ウ 諸表簿の整理と保管、設備・備品の管理と活用については、適正に行われるように努めた。
 - エ 学校事務の責任分担を明確にし、正確、敏速、円滑に処理するように努めた。
 - オ 各種調査報告について、厳正、的確に作成し、期限の厳守に努めた。
- ③ 勤務体制の確立
 - ア 教職員の勤務内容を明確にし、その実績について客観的に評価できるようにした。
 - イ 最終退職者と宿日直代行員は、出退勤時に学校管理状況の引継ぎを確実にを行うよう指導した。
- ④ 使命感の高揚
 - ア 教育公務員としての使命感に徹し、規律と責任ある態勢を整え、教育能率の向上に努めた。
 - イ 教育公務員としての立場を自覚し、いっそう事故防止に努め、社会的信用を失墜することのないようにした。
 - ウ 絶えず自己研修に努め、豊かな知性を養い、指導力を高め、職責をじゅうぶん果たせるようにした。

(5) 教育環境の整備充実

- ① 学習環境の整備充実
 - ア 環境整備については、方針を確立し、年次計画による充実を図った。
 - イ 学習環境を整備し、学習意欲の高揚を図った。
 - ウ 施設・設備の管理と運営の適正化を図った。
- ② 学校事故防止の徹底
 - ア 安全教育の計画的実施と、事故防止を配慮した環境の整備改善に努めた。
 - イ 学校事故、教職員事故の防止については、適切な対策を講じ、事故の絶無を期した。
 - ウ 指導・管理の充実を図るため、関係機関、団体等と